

■ 確認リスト (名古屋城天守閣整備事業 仮収蔵庫新築工事)

(株)安井建築設計事務所

※基本的には、文化庁からも指導がある前提としています。

2018年1月25日

件名	名古屋城天守閣整備事業 仮収蔵庫新築工事		
No.	項目	内容	回答
1	空気環境	荷下室には、美術品運搬車の排気ガス排出用の排気設備が必要と考えられます。車付リフターはエンジンをかけたまま動かします。ご確認ください。	運搬車のエンジンをかけている時はシャッター開けての運用を想定しています。1600CMHの排気ファンを設置しています。
2	空気環境	前室に入口のあるプランの方が使い勝手が良いようですが、その場合、入口に風除室が必要と考えられます。WCも風除室側に設置するなどの配慮要。ご確認ください。	
3	耐火・耐熱性能	国宝級収蔵庫では、収蔵庫扉、及び収蔵庫廊下・空調機械室(1)間のAG-5、及び区画貫通部のダクトダンパーなどは、火災時に収蔵庫内および収蔵庫廊下内が80℃以上にならない性能を有することを求められます。ご確認ください。	基本的には国宝級収蔵庫ではないので、80℃以上にならない性能は持たせていません。防火ダンパーは72℃で動作します。
4	結露対策	冬期でも庫内を55%の湿度を保つため、その周囲ではヒートブリッジを皆無にする必要があります。ALC版 取付金物、外壁足元のRC布基礎部等の断熱処理の検討が必要です。ご確認ください。	ALC取り付け金物、基礎、は表層に現場発泡ウレタンt25を吹きヒートブリッジ対策としています。収蔵庫の周囲には空間を設け、温調を行っています。